



船橋市 号外

民主党プレス民主編集部 03-3595-9988 (代表)

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1

安心して生活

できる船橋へ



船橋市議会議員

(37歳)

みっはし

# 三橋さぶろう

## 奨学金制度に給付型を

いま、学費の値上げと両親の収入低下で若い人が学校で学ぶことが厳しくなっています。

国税庁の統計によると平成15年度の民間給与の平均は約443万円でしたが、平成25年度の平均は約413万円と約30万円も収入が減っています。

一方で大学の年間授業料は平成15年の国立大学の授業料が約52万円、私立大学は約80万円。平成25年の国立大学の授業料が約54万円(2万円の増加)、私立大学は約86万円(6万円の増加)といずれも増加しています(文部科学省の調査)。

経済状況が厳しくても学ぶことができるよう奨学金制度があります。しかし、日本の奨学金の9割は「貸与型」呼ばれる「貸付金」であり返済しなくてはなりません。しかも貸与型奨学金の大半は利息が付くもので、いわばローン(借金)と同じです。

そして、この奨学金制度を利用している学生は大学の昼間部で全体の52.5%にも及び、二人に一人は奨学金を利用している計算になります(日本学生支援機構の調査)。

(裏面へ続く)

### 三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(37歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業後  
株式会社カネボウ勤務  
江東区健康スポーツ公社勤務
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選  
・文教委員会 ・広報委員会 ・民主党会派
- 特技: クロスカントリースキー  
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ  
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族: 妻、息子(3歳)

(前面から)

若い人がたくさん学んで成長し、社会に出て大いに活躍してもらいたいと願っていても、社会に出る時には「奨学金(借金)の返済」という重い足かせが付いている人が多いというのが現状です。

奨学金を利用し卒業した方の中には、思うように収入が得られず返済に苦しむ人もいます。また、結婚や出産に影響する場合や、住宅ローンが組むことができない人もいます。

このような問題を防ぐためにも返済義務のない「給付型奨学金制度」を導入していくべきだと考えます。

船橋市にも「船橋市修学金貸付制度」という奨学金がありますが、返済義務のある貸与型(無利息)の奨学金です。この奨学金制度は予算が少ないと思いますし、利用申し込みも年1回しかないことから使いやすい奨学金とは思えません。

給付型奨学金の導入の取り組みと同時に、現在の奨学金制度の改良を目指して参ります。

## 無料「なんでも労働相談」

労働に関する様々な悩みや問題について、無料で相談できる「なんでも労働相談」が下記の日程で開催されます。

給与・残業代の不払い、労働時間、解雇、ブラックバイト、パワハラ、マタハラ、労災・雇用保険など相談できます。詳しくは連合千葉総武地協事務所までお問い合わせください。

**日 時：2月19日、3月18日の金曜日**

**各日とも10:00~16:00**

**場 所：船橋市勤労市民センター(船橋市本町4-19-6)**

**連合千葉総武地協事務所 TEL:047-401-8126**

## 三橋さぶろう事務所

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 1階

新京成線 習志野駅から徒歩4分。 駐車場はございません。

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

HP: <http://mituhashisaburo.jp>

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。